

管理者向けリスニングスキル向上セミナー

～ 部下の心をつかみ、やる気を高める部下面談を体得～

管理監督者は、部下を通して業務遂行し、成果をあげなければならない。そのためには部下の本音に耳を傾ける必要があるが、実際には自己流の聞き方が身について、なかなか本音を引き出せないのが現状である。第 114 回教育研究会（平成 18 年 12 月 13 日開催）で『管理者向けリスニングスキル向上セミナー』としてこの観点から一日の研修会を開催した。SYPシステム専任講師内田和俊氏から各種フローチャートを使い、ロールプレイを取り入れ解りやすくご指導をいただいた。

タイプ別強みと弱みを理解

セミナーは参加者同士が、ひとりでも多くの人と名刺交換し、自己紹介を兼ね参加動機などを話し相手を知ることから始まった。引き続き 2 人 1 組となり、聞く（聴く）ことの演習で聞き役の難しさを体験。また、「コミュニケーションのタイプ別チェックリスト」で自己の行動や人との関わりにどのような特性があるかを自己分析。分析による 4 つのタイプ（コントローラー・プロモーター・ヘルパー・アライバータイプ）でグループに分かれ、タイプ別を理解することで部下の強み弱みを知り、対応するときの注意点を学んだ。



効果的な面談

効果的な面談を実施するための「10のリスニングスキル」「目標設定の SMART モデル」「GROW モデル」の解説を受け、3人1組となりロールプレイにより実習。「GROW モデル」とは、部下を育てるには、内的・外的両方の強みに焦点を当て、現状把握・障害の明確化、目標達成のための方法・手段に焦点を当て、目標達成の意思確認（フォローアップ）を実行することである。

参加者からはすぐに役立つ内容であったと感想をいただいた。